

2024/3/10

No. 14

## 響流十方

こうるじっぽう

■発行所：真宗大谷派 笠間山 光照寺 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2591 TEL：0296-72-0536  
 ■編集人：土肥 真



黒書院より見た東本願寺御影堂

## もくじ

・巻頭言	P1
・掲示板のことば	P2
・報恩講報告	P2
・坊守のつぶやき	P3
・春の永代経のお知らせP3	
・お彼岸について	P4
・同朋会秋の参拝旅行	P4
・役員交代のお知らせ	P4
・編集後記	P4

## 終わりの始まり

元日の夕方に能登半島地震が起こった。テレビの画面を通して、リアルタイムで見た輪島市の様子には身が震えた。

思い返せば十三年前の東日本大震災では、震度六強の揺れに恐れ慄いた。瓦が崩れ、家の壁も落ち、あちらこちらにひび割れや柱の傾きが見られた。墓地は何かに踏んづけられたように損壊し、埋め立てた駐車場では液状化現象が起きた。

それから、電気と水道が繋がるまで数日かかり、ガソリンや食べ物を買うまでも日を要した。また、原発の爆発もあり放射能への対応にも苦慮させられた。

その後も、瓦礫や危険物等の片付けから始まり、罹災証明や保険共済の手続き、ブルーシートを屋根に掛けて修繕を待つなどして、落ち着きを取り戻すには、かなりの時間が必要だった。

屋根の修復は年を越え、庫裏の傾いた基礎をやり直した

のが三年後であり、本堂の捻じれるような傾きを直すことを断念し、解体新築出来るまで十年掛かった。

地震に遭遇した時「終わった」と思った。それから原発の爆発を見たときも、同じ年に父を看取った時も同じように思った。そして修繕や新築落慶法要を済ませたときも「終わった」と思った。しかし本当は何も終わっていなかった。全てそこから始まっていたのでした。済ませたい・終わらせたい・楽になりたいという思いが「終わった」ことにしたいだけであったのだ。

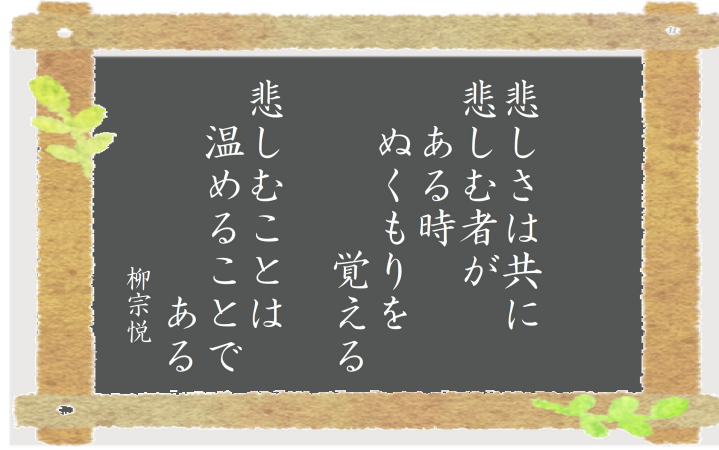
先日の研修会で『終着駅は始発駅』をご紹介いただいた。

函館止まりの 連絡船は  
青森行き 船になる  
希望を捨てるな 生きてるかぎり  
どこからだって 出直せる  
終着駅は始発駅 (作詞 佐藤たどる)

仏教は今から・ここから・私から始まる教えだと聞かされ、さらにやり直しの利かない人生ではあるが、見直すことはできると教えられた。仏教は死んで終わりでもなく、浄土に迎え取られて終わりでもない。始まる教えである。



# 掲示板のことば



「悲」とは含みの多い言葉である。二相のこの世は悲しみに満ちる。そこを逃れることが出来ないのが命数である。だが悲しみを悲しむ心とは何なのであろうか。悲しきは共に悲しむ者がある時、ぬくもりを覚える。悲しむことは温めることである。悲しみを慰めるものはまた悲しみの情ではなかったか。悲しみは慈しみ（いつくしみ）でありまた「愛おしみ（いとおしみ）」である。悲しみを持たぬ慈愛があるろうか。それ故慈悲ともいう。仰いで大悲

ともいう。古語では「愛し」を「かなし」と読み、更に「美し」という文字をさえ「かなし」と読んだ。信仰は慈みに充ちる観音菩薩を「悲母観音」と呼ぶではないか。それどころか「悲母阿弥陀仏」なる言葉さえある。基督（キリスト）教でもその信仰の深まった中世紀においては、マリアを呼ぶのに「Lady of Sorrows.」の言葉を用いた。「悲しみの女」の義である。

柳宗悦『南無阿弥陀仏』より

葬儀は、子や孫が看取って行われるとは限りません。親が我が子のお弔いを行わなければならぬこともあります。そのときの悲しみは、胸に突き刺さるものがあります。しかし、その悲しみの意（こころ）を尋ねていくことの大切さを教えられます。必ず、共に悲しんでくれる存在があることを忘れてはならないのだと思います。

民藝運動の父といわれる『柳宗悦』のこの言は、何度も何度も反復して読みたいものです。

# 報恩講報告

昨年（2023年）の報恩講初日は報恩講の夕べとして落語会を行いました。

落語家の三遊亭わん丈さんは間もなく真打に抜擢昇進される若手のホープです。始まりから終わりまで爆笑のなかにも心に染みる薪もあって、大好評でした。

老若男女が一緒に楽しめる場を持つたことは、地域のなかのお寺として、とても意味のある集いであったと思います。



二日目は、二年ぶりに海法龍先生に出向いただき、ご法話をいただきました。



お斎や法要諸準備も小坂保世話人と中島清世話人の地区の方々が担っていただき、おかげさまで無事に円成することが出来ました。





# 春の永代経法要のお知らせ

謹啓 ご門徒各位におかれましては、ご清祥にお過ごしのことと存じます。

さて、左記の通り春の永代経法要を執り行いますので、ご案内申し上げます。

皆様のご参詣を心よりお待ちしております。

記

期日 四月十日(月)

午前十一時半よりお斎

午後一時より 法要

午後一時半より 法話

午後三時頃、散会予定

法話 今泉 温資 師

新潟市亀田 往生人舎主幹

※今泉先生は、とても大きな声ではっきりとわかりやすくお話をしてくださいます。



## 坊守のつぶやき

今年はず暖冬かと思っていました。それなりに寒かったように感じています。そうかと思えば、二月には二か月も季節を先取りしたように暖かな日もありました。寒暖差が激しい中、小中学校では季節性の感染症が大流行し、学級閉鎖が相次いでいました。受験生のいる我が家では、感染してはいけないうり。ピリピリした日々を過ごしていました。ようやく受験は終わりましたが、この寺報を書いている時点で合否はわかりません。どのような結果であっても、入学する学校で気の合う友達に出会い、それなりに楽しい学校生活を送ってこれれば言うことはありません。自ら選択し、目標に向かって心が揺れながらも懸命に打ち込んだ日々は、きっと本人の貴重な経験になったことでしょう。子供が大きくなると、親がしてあげられることは少なくなっていくますね。自立していく姿を、少し寂しく、とても喜ばしくも思う今日この頃です。

話は変わりますが、お陰様で本堂が新しくなり、これを機により多くの方にお寺に来て頂ける機会を作りたいと思案しております。その一環として、昨年末より「ナイトヨガ」を始めました。お寺のことに理解のあるヨガの先生との出会いがあり、女性限定ですが、月に一度開催しています。お仕事をしている方でも参加しやすいように、週末の夜に開催しており、お陰様で沢山の方にご参加いただいております。お寺をもっと、身近に感じてもらうきっかけになればと思います。ヨガの先生いわく、どんなヨガの動きをするときにも、無理をしてはいけません。可動域はひとそれぞれ。人とは比べず、自分が動かせる範囲で気持ちよく体を動かし整えるのが良いそうです。

今回のナイトヨガは、3月22日(金)の開催です。初心者の方や、お友達との参加も大歓迎です。チラシを同封しておりますので、詳細はそちらをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。お申し込みは、チラシのQRコード、光照寺LINE、お電話等で受け付けております。

今後皆様にご参加いただけるようなイベントを、住職と共に思案し、開催していきたいと思っておりますので、よろしくごお願い致します。



### お彼岸について

春彼岸会の二十二日(祝)には、玄關にてお抹茶とお菓子を無料でご用意いたします。墓参の際には、是非お立ち寄りください。

なお、十七日の入りと二十三日のお中日、ならびに二十三日の明けの十三時から、本堂にて彼岸法要を執り行っております。是非お参りください。

墓地用のお花は例年通り、一束五百円にて用意しております。事前にご連絡をいただければ、お取り置きもいたします。また、お線香や専用ライターもご用意しますので、お声掛けください。



### 同朋会・秋の参拝旅行

十二月七日から一泊で新潟県三条市の三条別院と長岡市の安静寺へ参拝旅行に参りました。別院では越後の親鸞聖人の話と別院の成り立ちをお聞きしました。また、長岡藩牧野家の資料館では笠間牧野家との関連を学びました。

長岡市の「よもぎひら温泉」に宿泊し、安静寺へ参拝いたしました。安静寺の副住職と当山の住職と一緒に浄土真宗を学んだ友であり、また現住職は真宗大谷派の宗務総長を歴任された方です。ご住職よりお寺の歴史や越後の真宗寺院のお話を伺うことができました。銘酒「久保田」で有名な朝日山酒造では工場見学と試飲を堪能して帰路に就きました。



### 光照寺役員交代のお知らせ

左記の通り役員総代が新任交代となりましたのでご報告いたします。(敬称略)

- |      |           |
|------|-----------|
| 代表役員 | 土肥 真      |
| 責任役員 | 杉田捷機(新)   |
| 総代   | 田村昭人      |
| 総代   | 根本健一      |
| 総代   | 石上 清      |
| 総代   | 大月政明(新)   |
| 総代   | 笹目 和子(名誉) |

また、世話人(二十名)のうち、お二人が交代されましたので併せてご報告いたします。退任の方にはお世話になりました。(敬称略)

- 小南勉(退) ↓ 小南英次(新)
- 小坂保(退) ↓ 田村一浩(新)

昨年に武藤昭様(前・総代)がご逝去されました。長きに渡り役員としてお支えいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

また笹目 和子様(前・責任役員)に於かれましては、新本堂建設に一方ならぬ御尽力を賜りましたこと重ねて御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

### 編集後記

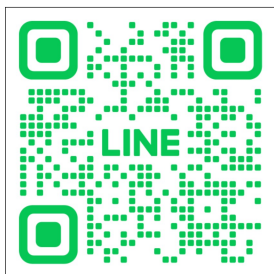
光照寺ホームページが完成しました。是非御覧ください。

URL: <https://kasamkousyouji.com>



光照寺HPのQRコード  
スマホ対応です。

光照寺公式ラインを作成いたしました。是非おともだち登録をお願い致します。お寺で申したいだけ粗品を差し上げます。



光照寺公式LINEの  
QRコードです。

今年に入り、胃カメラ検査や内視鏡検査等を行ってきました。知命を迎えるという事は、やはり身体に何らかの影響を受けやすい年なのでしょう。不摂生が原因なのか、有限のいのちを知る機会にするしかありません。(真)